

私の歩んだ道

同窓会副会長(法大教養部教授)

五明 公男



為に一家をあげて、東京に舞い戻る事になった。小学入学の時であった。小学、

監督として神宮六度優勝！ 史上初の完全四連覇も

今春野球部は昭和五十年秋の初優勝以来、東京大学リーグ戦四十回目の優勝を成し遂げた。幸運にもその中の六回、私も監督として携わる事が出来た。思はず私の人生も「野球と共に歩んできた」といっても過言ではない。



昭和52年秋、東京六大学野球史上初の完全4連覇を胸上げられる五明監督(当時)＝神宮球場

する事ができた。柴田、是久的場、藤田ら超高校級といわれた同窓に恵まれた事も幸福であった。

神宮、小学校時代に父と一緒に見た後楽園球場での巨人、阪神戦や、神宮球場での六大学リーグがより野球に対する愛がけられ、神宮球場でプレーするんだという強い思いが、少年の胸に熱く焼きついていった。大学一年生よりユニホームを着、三度も神宮球場にて優勝を味わう事が出来た。

頑張れ！オレンジ軍団

卒業生にとって帰郷意識に目覚める瞬間でもある。私は同窓会役員立場から、また本学職員OB(元保健体育部長)としても是非、



今年(正月2日)朝、読売新聞社前をスタートした関東大学箱根駅伝の本学体育会陸上競技部の活躍は、誰もが予想できなかったことであろうと思われ、テレビ様版の私は思わず興奮し、往路優勝をするのではないかと。

野球アメフトフットボール、サッカー等々多くの部が活躍し、我々OBが始め多くのスポーツマンを育ててくれた。彼らの活躍は、それらを通じて、

て、大学の広報やイメージアップに大きく貢献してくれているのである。スポーツを経営戦略の一環に

戦略の一環に チャンピオンズスポーツでは優秀なコーチングスタッフを有利な条件(専任教職員としての採用等)で抱え、

体育会への大学補助金はわずか2% 本学体育会の場合、その運営費は部員の負担金とOBの寄付金とで全体の約70%を占めており、

それは相対的にシリ貧傾向にある。が将来もこのまま推移していくとすれば、競技レベルが益々高度化していくスポーツ界にあつては

職員ホールを借用、実施致す。参加者既一同に。第一部、厚生労働省老健局介護課健康・貝谷伸課長と評語し、

昭和三十四年法政大学卒業 昭和三十五年法政大学卒業 昭和三十六年法政大学卒業

そして六度の優勝、史上初の完全四連覇も達成した。指揮官として川をはじめ多くの優秀な選手に恵まれた事に感謝を述べ、

後期の事業案内 無料相談会 ①日時：10月6日(土) P.M.1時～4時

前期の事業報告 ④4月22日、NKK大河ドラマで放映された北条時宗ゆかりの地を訪ねて、鎌倉、史跡めぐりを実施、

昭和三十四年法政大学卒業 昭和三十五年法政大学卒業 昭和三十六年法政大学卒業

昭和三十七年法政大学卒業 昭和三十八年法政大学卒業 昭和三十九年法政大学卒業

昭和三十四年法政大学卒業 昭和三十五年法政大学卒業 昭和三十六年法政大学卒業

昭和三十七年法政大学卒業 昭和三十八年法政大学卒業 昭和三十九年法政大学卒業

昭和三十四年法政大学卒業 昭和三十五年法政大学卒業 昭和三十六年法政大学卒業

昭和三十四年法政大学卒業 昭和三十五年法政大学卒業 昭和三十六年法政大学卒業

大成功だった法学部卒業祝賀会

参加者 予想越える二百五十人

全員その場で同窓会に入会

組織委員長 大西 光広

平成十三年三月二十四日は、「軒余曲折の後」を私に強く印象付けた一日であった。毎年三月二十四日は母校法政大学の卒業式の日である。この日、本学始まって以来初めての同窓会主催による法学部卒業祝賀会が東京・アルカディア市ヶ谷(私学生会館)にて盛大に行われた。



いなる自信とより開催は間違っていないと確信した。

応援団も駆けつけ盛り上がる

同窓会としての役割りは、卒業生に対し、大学に対して、そして現役学生に対して出来る限りの事を行って行くことであつたが、仲間たすべき事と成すことが出来なかつた。組織拡大委員会から企画委員会を独立させて今年、鎌倉中跡めぐり、厚労省キャリアを招いての介護に関する講演会を行い、そして曲折はあったが、卒業生に対し急願の卒業祝賀会を開催することが出来た。

法学部教授が積極的に協力

当日の学位授与をして、法学部教授の方々に祝賀会の出席を要請するべく出席して下さいの卒業生に対して、教室での文切りの型でなく、激励の印象に残るスピーチ(社会に出るといろいろな苦難が皆さんを待ち構えているが、法政法学部出身としての誇りを持ち、頑張りの通文)をして頂き、今回の祝賀会をすばらしい行事だと称賛いただいた事は大きな



法学部の卒業生、教授、同窓会メンバーが楽しく交流した卒業祝賀会—3月24日。アルカディア市ヶ谷

第四回法学部同窓会総会及び懇親会

- (総会)
 - 一、日時 一〇月二六日(金)午後六時
 - 一、場所 法政大学本ソナードタワーエカイホル
 - (懇親会)
 - 一、総会引き続き午後六時三〇分から開催
 - 一、会費 八〇〇〇円

※同窓会顧問であり、また、森定前法政大学総長、遠藤光男元最高裁判事、金子征史労働法教授、そして法学部長鈴木佑司教授、その他同窓会顧問の諸先輩及び諸先生方を御招待予定です。会員の皆様にてお呼び下さい。先生がおりましたら事務局宛御連絡ください。

わが青春のキヤンパス

⑤

私は昭和三十一年四月に法学部法律学科に入学し、堀に出ては発声練習をした。学生時代の思い出の大部分は弁論部に在席したところによって作られた。入学生と先輩の思い出に残ることとしてクラス委員になったことが挙げられる。初めてのクラスごとの授業の時に二年生の自治役員が来て「クラス委員を三名選出してほしい」と言つた。みんな見知らぬ仲なので推薦の声も出ない。

これではいづれもたつても決まらなかつた。進級するに代わつたが私は委員を続けたい。四年に私は委員を続けたい。四年に私は委員を続けたい。四年に私は委員を続けたい。

最後に私が今回の祝賀会で驚いた事を三つ、法学部卒業生に女子の割合がかなり多かつた事(昔に比べベア力又けていた)、そして卒業生(若者)が、そつちばかり法政の看板学部部の学生だけあつて礼儀正しかつた事である。今春羽ばたいていった卒業生の皆さん有難うです。来春三月二十四日、お堀のそのアルカディア市ヶ谷に戻つて来て下さい。

煤煙をテーマに各弁論大会で優勝

国際親善交流協会理事長 (株)月刊みんよう社社長

山本 敏之

その地域へ行くとは濃厚な排気ガスで立ちまわつて五年来にわたつて月刊で出版して胸苦しくなつた。これと似た大変な社会問題になる、と思つた。それから「煤煙」をテーマとして弁論の原稿のため、たびたび両国へ出かけることになり、その結



獲得トロフィーを前に卒業記念弁論を展開する筆者—母校511番教室

オール法政
ゴルフのご案内
本年十一月五日(月)
久邇(く)カントリー

クラブ(増重飯能市平松)
〇四二九一七〇—二九二
集合時間 未定、連絡後
参加費 二万円(退つて郵
送) 〇三—三三六四—八三三
FX 〇三—三三六四—四七〇

ゴルフ同好会発足
ゴルフ同好会事務局
TEL 〇三—三三六六一

中島法律事務所 弁護士 中島 真介 〒100-0001 東京都中央区銀座七丁目二番地五階 電話 〇三—三三七四—八六〇八 昭和42年法学部卒業	株式会社クリンコート 専任 鈴木 木勝善 〒100-0001 東京都中央区梅田二丁目十一番十四号 電話 〇三—三三三一—〇八七代 昭和42年法学部卒業	昭和不動産研究所 支所長 市川 喜通 〒100-0001 東京都港区新橋六丁目十四番一—十四階 電話 〇三—三三三〇—五〇六〇 昭和44年法学部卒業	山崎法律事務所 弁護士 山 寄正俊 〒100-0001 東京都千代田区神田一丁目八番九号 電話 〇三—三三三三—三三〇五 昭和44年法学部卒業	植村五十三會計士事務所 公認 植村 五十三 〒100-0001 東京都千代田区神田一丁目八番九号 電話 〇三—三三三三—三三〇五 昭和44年法学部卒業	法政大学法学部同窓会理事 弁護士 大塚 孝子 〒100-0001 東京都千代田区山吹町三丁目早川 電話 〇三—三三三三—三三〇五 昭和46年法学部同窓会理事	プロニクス株式会社 取締役 井上 仁良 〒100-0001 東京都千代田区山吹町三丁目早川 電話 〇三—三三三三—三三〇五 昭和50年法学部卒業	法政大学法学部同窓会 常任理事 山田 綾子 〒204-0002 千葉県若葉区千城台三丁目一三三九 電話 〇四—三三三三—三三三九 昭和35年法学部卒業	法学部同窓会 全国組織 大西 光広 〒112-0004 東京都文京区後楽一丁目一五 電話 〇三—三三三三—三三三三 昭和55年法学部法律学科卒業	株式会社ソレイユ 取締役 緒方 清美 〒100-0005 千代田区丸の内二丁目六番二号 電話 〇三—三三三三—三三三三 平成3年法律学科卒業
---	---	--	---	---	--	--	---	--	--